

小金井市立小金井第二中学校

令和7年度 第1回進路説明会

【本日の流れ】

- ① 学校長より
- ② 入試制度および概要について
- ③ 今後の進路関係スケジュール等
- ④ 学年より

小金井市立小金井第二中学校

令和7年度 第1回進路説明会

【本日の流れ】

- ① 学校長より
- ② 入試制度および概要について
- ③ 今後の進路関係スケジュール等
- ④ 学年より

小金井市立小金井第二中学校

令和7年度 第1回進路説明会

【本日の流れ】

- ① 学校長より
- ② 入試制度および概要について
- ③ 今後の進路関係スケジュール等
- ④ 学年より

進路決定に向けて①

進路先を決める

人間関係形成・
社会形成能力

自己理解・
自己管理能力

課題対応能力

キャリアプランニング能力

志望校を決めるために①

相手（志望校）を知る

自分を知る

相手（志望校）を知る

多くの学校の情報を
広く収集できる

本
(受験案内)

インターネット

卒業生の話

説明会

体験入学
(授業・部活)

個別相談会

特定の学校の情報を
より詳しく収集できる

自分を知る



自分を見つめ直す

●どんな高校生活を送りたいのか？

〇〇部に入りたい 英語を身につけたい

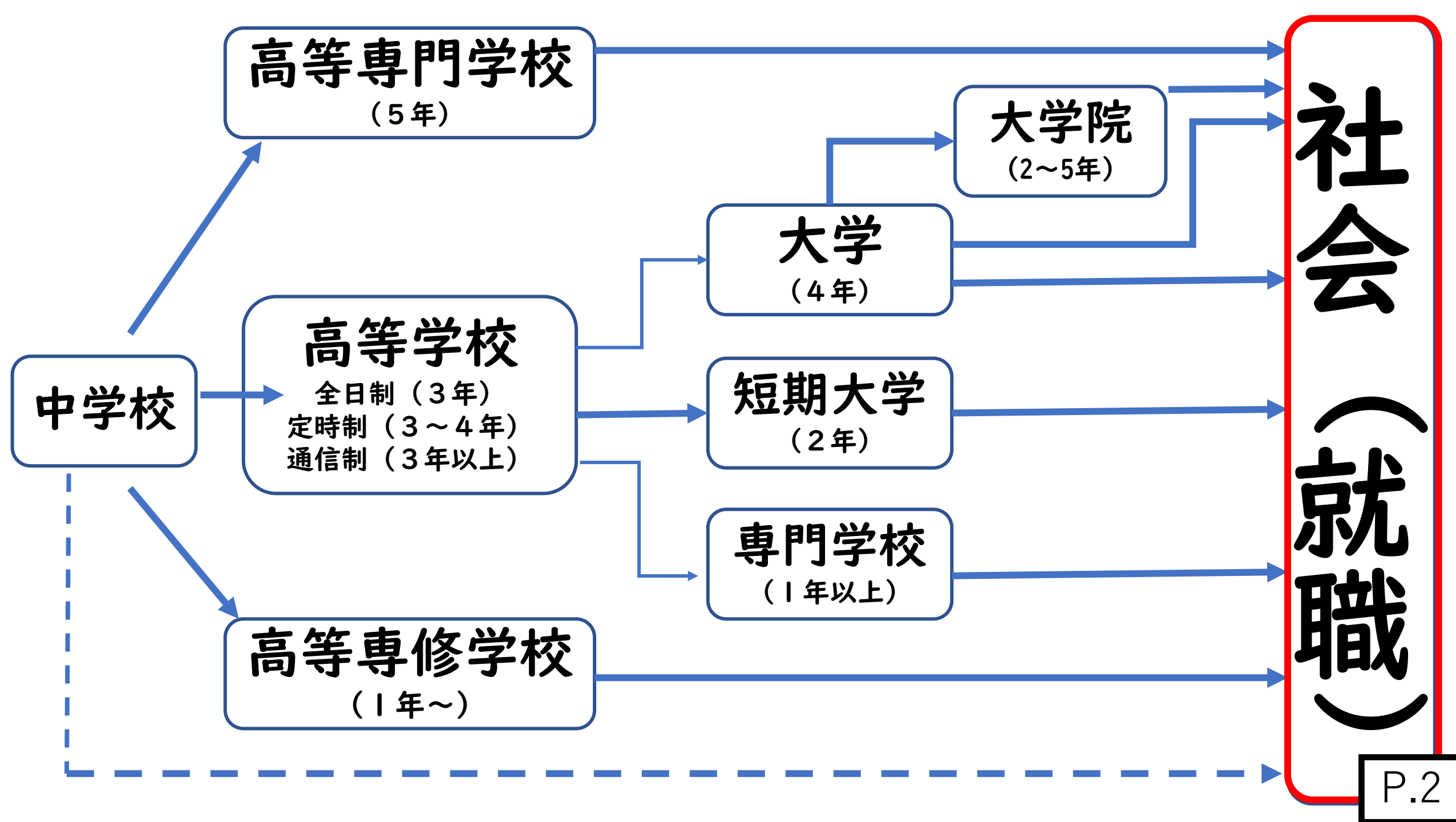
友達の輪を広げたい 〇〇〇の資格を取りたい

●高校卒業後はどんな道に進むのか？

大学で〇〇を研究したい こんな仕事に就きたい

外国で働きたい 人の役に立つ仕事をしたい

●得意なこと・好きなことは何だろう？



高等学校

都立・私立・国立の3種類がある。
原則3年で卒業。

高等専門学校

修業年限5年。卒業後は短大卒業と同等の資格、高度な専門教育を行う学校。

専修学校

社会で働くために必要な技術や知識を身につけることを目的とした学校。

サポート校

通信制高等学校の単位取得をするための学習を支援する学校。
単位取得で高等学校卒業資格を得られる。

その他の学校

職業能力開発センター
企業内学校

就職

企業に就職し働く

入試制度①

都立高校編

全日制課程

朝から午後までの日中に授業を行う。

定時制課程

夜間、もしくは定められた時間帯に授業を行う。

通信制課程

原則自宅等で学習し、レポート等を提出したり、定められた日に登校する。

学年制

学年ごとに学習内容が定められている。

単位制

学年の区別なく、3(4)年間の間に定められた単位数を取得すれば卒業が認められる。

都立高校の種類～学科～

普通科

農業関連学科

情報関連学科

福祉関連学科

国際関連学科

デュアルシステム科

科学技術科

普通科（コース制）

工業関連学科

科学技術科

芸術関連学科

水産科

併合科（島しょ部）

ビジネスコミュニケーション科

創造理数科

商業関連学科

家庭関連学科

体育関連学科

総合学科

都立高校の種類～特色～

進学指導重点校

進学指導特別推進校

進学指導推進校



大学進学に
力を入れている

昼夜間定時制高校



多様な
ライフスタイルを尊重

チャレンジスクール

エンカレッジスクール



学力検査を
行わない

都立高校 入試の種類

推薦に基づく選抜
(推薦入試)

一般推薦

文化・スポーツ等特別推薦

理数等特別推薦

学力検査に基づく選抜
(一般入試)

第一次募集

第二次募集

推薦に基づく入試（一般推薦）

推薦入試は「思考力、判断力、表現力等の課題を解決するための力」や「コミュニケーション能力」などを評価し、選抜することを目的としています。
そのため、一般推薦では『**集団討論**』と『**個人面接**』を組み合わせ実施します。

【個人面接】

出願の動機・理由、興味・関心、規範意識・生活態度や自己PRカードの記載内容などを確かめ、これまでの経験を今後の高校生活で生かせる力があるかどうかを確認します。

【集団討論】

コミュニケーション能力や協調性、思考力、判断力、表現などを評価します。与えられたテーマについて自分の考えを明確に述べることができるか、複数名の受検者同士が一つのテーマに関して論理的に議論を進めて、結論を導くことができるかなどを確認します。

※感染症対策のため中止していた。2024年度より必要と判断した学校に限り再開

【小論文または作文、実技検査、その他学校が設定する検査】

文化・スポーツ等特別推薦

【目的】

- 各都立高校の個性化・特色化の推進
- 卓越した能力をもつ生徒の力を評価

【提出書類】

○文化・スポーツ等特別推薦書

指定様式に記入

※同一校の一般推薦に併せて出願することが可能。

理数等特別推薦

【目的】

- 科学技術の根底にある理数系分野の素養を前提に、「探究の過程を通して課題を解決する力」、「他者の考えから自分の考えを深めるとともに新しい価値を生み出す創造性」など、変化し続ける社会で求められる資質・能力の育成を図る

【提出書類】

- 理数等特別推薦書

- 各高等学校が志願者に配布した様式を用いる。

- 研究実績報告書等の写し

- 科学分野等の研究に関するレポート

- ※ 同一校の一般推薦に併せて出願することはできない

都立推薦入試 選考方法

総合成績(合計点)

①

調査書点

観点別評価か
評定を点数化

+

②

面接・集団討論点

両方の検査を
合わせて点数化

+

③

作文／小論文点
または実技など

各学校いずれか
の検査を実施

※調査書点の配点の割合は**総合成績の50%以内**

自己PRカード

①志望理由

入学を志望した理由と、自分が取り組みたいことを、『本校の期待する生徒の姿』を参考にして記入

②中学校生活の中で得たこと

中学校生活の中で、自分が特に伝えたいことを、学校内外で体験したことがから選び、そこから自分が得たことについて具体的に記入

③高等学校卒業後の進路について

将来の夢や目標、将来になりたい職業など、高等学校卒業後の進路について自分が考えていることを具体的に記入

(様式12) (A4判)

受験番号	コース・科(分野)・部	受験番号	コース・科(分野)・部
文化・スポーツ等 特 別 推 薦		一般推薦	
		一般選抜	

自己PRカード

東京都立

高等学校長 殿

年 月 日

立 中 学 校

氏 名

1 志望理由について

(この学校を志望した理由と入学してから自分が取り組みたいと思うことなどについて『本校の期待する生徒の姿』を参考にして記入しましょう。)

--

2 中学校生活の中で得たことについて

(中学校生活の中で自分が特に伝えたいことを学校内外で体験したことから選び、そこから自分が得たことについて具体的に記入しましょう。)

--

3 高等学校卒業後の進路について

(将来の夢や目標、将来になりたい職業など、高等学校卒業後の進路について自分が考えていることを具体的に記入しましょう。)

--

(注意) 1 志願者が黒のボールペンで記入する。
なお、コピー等鮮明な表記のものは認める。
2 推薦に基づく選抜を志望する者、学力検査に基づく選抜において面接を実施する都立高校を志願する者は、この自己PRカードを出願時に提出する。また、面談の対象となる者、一般の学力検査における引揚生徒の受検についての措置又は定時制成人受検者特別措置により受検する者についても、出願時に提出する。

都立 一般入試の選考方法

総合得点
(1000点満点)

総合成績

学力検査点

自分のとった入試の得点を700点満点に換算

+

調査書点

自分の内申を65点満点に換算し、それをさらに300点満点に拡大

+

ESAT-J

中学校英語スピーキングテスト
都内中学3年生全員を対象に実施
20点満点で都立入試一般総合得点に加点

全日制課程の学力検査と調査書の比重は原則**7:3**

学力検査の得点と調査書点の比率等

【全日制課程】

募集	学力検査の教科数	学力検査の得点と調査書点の比率
第一次募集	5教科 (国・数・英・社・理)	7:3
第二次募集	3教科 (国・数・英)	6:4

※ 学校によっては、学力検査に加え、面接、小論文又は作文、実技検査を実施する場合があります。

※ 「体育科」「芸術科」の学校は、3教科(国・数・英)、6:4になります。実技検査を行います。

現在地を知る手段を学ぼう[都立一般入試編]

★都立一般

学力検査:700点満点(100点×5教科×1.4)

国語	数学	理科	社会	英語	合計
					/ 500

調査書点:300点満点

国語	数学	理科	社会	英語	音楽	美術	体育	技家	合計
									/65

合計×1倍

合計×2倍

学力検査 700点満点	調査書点 300点満点	合計 1000点

自己PRカードの提出等について

検査内容	面接がある	面接がない
入学願書提出時	<u>提出必要</u>	—
面接時	面接資料として活用	—
合格発表後	—	<u>提出必要</u>

- * 一般入試において面接を実施しない都立高校を受検し合格した者は、推薦入試において同じ都立高校を受検した際に「自己PRカード」を提出している場合でも、改めて「自己PRカード」を作成して、指定された期日に提出することになります。

入試制度②

私立高校編

私立高校 入試の種類

推薦に基づく選抜
(推薦入試)

推薦入試

学力検査に基づく選抜
(一般入試)

第一志望優遇

併願優遇

一般受験

過去の私立高校推薦基準例

- ①本校を第一志望とし、合格した場合は必ず入学することを確約できる者
 - ②中学校が推薦するにふさわしい人物として認めること
 - ③3年次の欠席日数が5日以内で、3年間の欠席日数が10日以内であること
 - ④5科「20」以上。各種検定（英検・漢検・数検）で3級以上を有する者は、
1点加点する
 - ⑤3科「11」または5科「18」または9科「34」以上であること
 - ⑥本校の学校説明会に参加していること
- ＊推薦入試制度を利用して合格した場合は、合格後の入学の辞退、他校の受験は一切できません

私立高校 入試の種類

推薦に基づく選抜
(推薦入試)

推薦入試

学力検査に基づく選抜
(一般入試)

第一志望優遇

併願優遇

一般受験

一般入試【第一志望優遇】

- ・受験校が第一志望で、必ず入学することを条件に、入試得点に加点して優遇してもらう制度。

一般入試【併願優遇】

- ・他の学校が第一志望で、その第一志望校が不合格となった場合は、必ず入学することを条件に、入試得点に加点して優遇してもらう制度。

＊私立校との併願優遇はできない私立高校もあります＊

入試制度③

入試相談

当該生徒の成績等が高校の設定している基準に達していることを中学校が補償することで、入試における優遇を中学校が高校に依頼する制度

入試制度④

入試制度
都立・私立 相違点

共通点【推薦制度活用】

- 第1志望であること
- 中学校長の推薦が必要
- 一般入試よりも早い時期に試験実施

相違点【推薦制度活用】

【都立】

- 評定値等の明確な推薦基準がない
- 事前の入試相談がない
- 学力検査を実施しない。(面接、小論文、作文、集団討論等を実施)

【私立】

- 評定値等の明確な基準があり、出願資格としている。
- 事前の入試相談がある 中学校教員が高校に出向き、基準の確認等を行う
- 学力検査を実施する学校がある。(入試相談なし)
- 成績上位者に対し、入学後の特典を与える高校がある(入学金等免除)

入試制度⑤

本校の推薦基準

本校の推薦基準

- ①推薦を希望する学校を志願する理由や、入学後の目標が明確であること
- ②「第一志望」で合格した場合は、その学校に必ず入学すること
- ③基本的な生活習慣が確立しており、学校のルールをきちんと守っていること
- ④授業に真剣に取り組み、学力の向上に励んでいること
- ⑤上級学校（私立）が基準としている評定や欠席日数などの条件を満たしていること
- ⑥上級学校の求めている生徒像に見合っていること

入試制度⑤

中学校英語

スピーキングテスト(ESAT-J)

令和7年度
中学校英語スピーキングテスト (ESAT-J) のお知らせ

1 概要 | ESAT-Jとは何ですか?

中学校英語スピーキングテスト (ESAT-J) は、中学校の授業で学んだ英語で「どのくらい話せるようになったか」を測るためのスピーキングテストです。中学校1年生対象の「ESAT-J YEAR 1」、2年生対象の「ESAT-J YEAR 2」、3年生対象の「ESAT-J YEAR 3」を毎年実施しています。



ESAT-Jを通して現在の英語力を知り、結果を基に今後の目標を設定することで、英語の「話すこと」の力を更に伸ばしていきたいと思います。

ESAT-Jについて
詳しく知りたい人はこちら
ESAT-J 説明動画



住田明乃さん 編 バックンさん 編

2 今年度の主なスケジュール | いつ、何がありますか?

今年7年度	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3年生対象 ESAT-J YEAR 3						11月23日(本試験)テスト実施				
						12月14日(追・再試験)テスト実施				
2年生対象 ESAT-J YEAR 2										
1年生対象 ESAT-J YEAR 1										

※ 各配布物は学校を通じて配布します。

※ 申し込みは、ESAT-J専用ポータルサイトから保護者が行います。詳細については、申し込みマニュアル (ESAT-J YEAR 3は8月下旬、ESAT-J YEAR 1及びESAT-J YEAR 2は9月下旬配布予定) を参照してください。

※ ESAT-J YEAR 3は都立高校、大学、民間高校等で実施します。ESAT-J YEAR 1及びESAT-J YEAR 2は、令和8年2月から3月までのいずれかの1日に、在籍する中学校で実施します。

※ 都立高校入試では、ESAT-J YEAR 3の結果を活用します。(ESAT-J YEAR 1及びESAT-J YEAR 2の結果を都立高校入試に活用することはありません。)

中学校英語
スピーキングテスト(ESAT-J)

生徒登録

7月3日(木)~

受験票配布

10月下旬以降

試験日

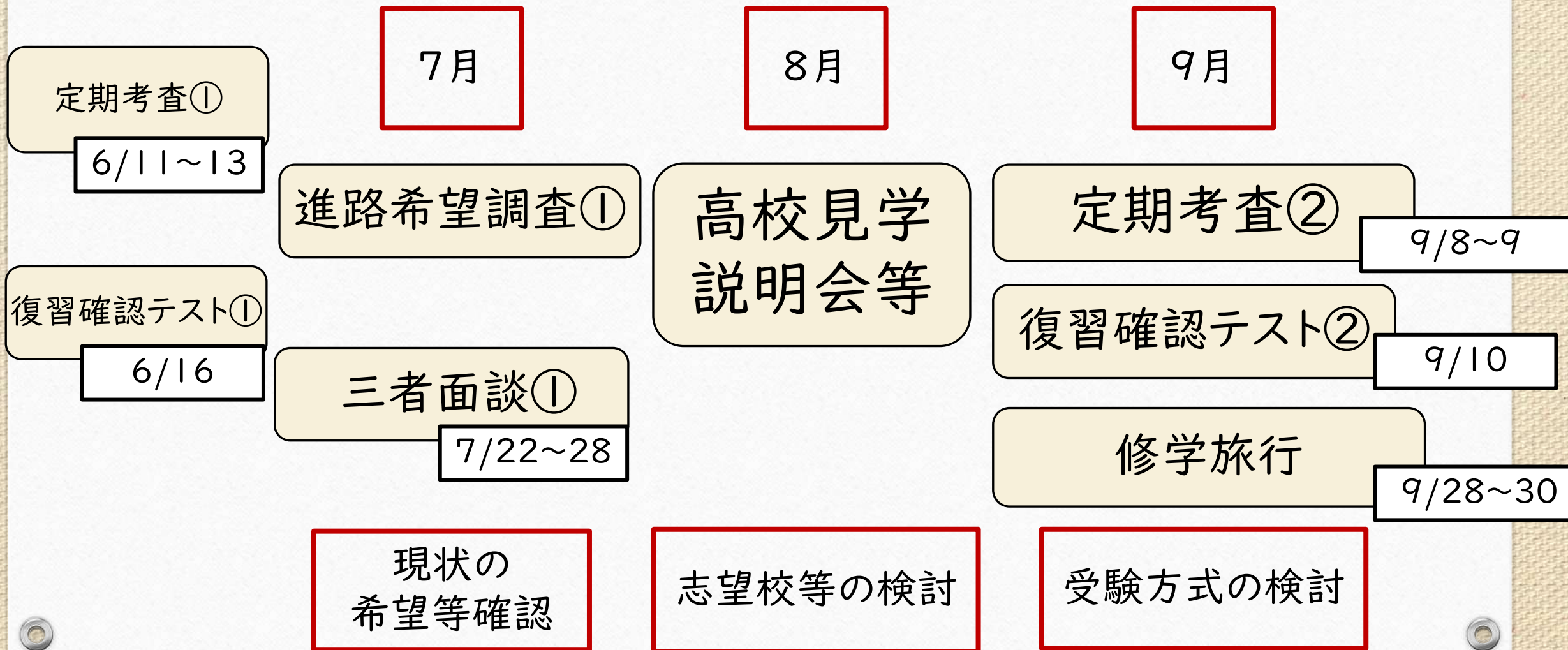
11月23日(日)
12:30集合
13:00開始

令和6年度 第1回進路説明会

【本日の流れ】

- ① 学校長より
- ② 入試制度および概要について
- ③ 今後の進路関係スケジュール等
- ④ 学年より

今後の主な進路年間スケジュール①



今後の主な進路年間スケジュール②

10月

第2回進路説明会 10/16

音楽祭 10/20

復習確認テスト③ 10/27

三者面談、進路希望調査②

10/24~31、11/4

志望校・受験方式
仮決定

11月

定期考査③

11/12~14

ESAT-J

11/23

内申点 見込み確定

進路希望調査③

志望校・受験方式
確認

12月

三者面談③

12/1~9

推薦願い
併願優遇願い提出

私立入試相談

12/15~

出願書類準備

志望校・受験方式
最終確認

三者面談①（7月23日～28日）

- ・第1回進路希望調査の内容をもとに、
面談時点での希望進路（概要）の確認
- ・1学期の振り返り
- ・進路や学校生活についての相談
- ・現在の学習状況、夏休み、2学期以降の過ごし方の
確認

※説明会への参加申し込み等は計画的に行ってください。

三者面談②（10月24日～10月31日）

- ・第2回進路希望調査の内容、1学期の成績をもとに面談時点での進路希望を確認
- ・成績が変動する可能性をふまえた、それぞれの場合の志望校の順位等の確認
- ・私立高校を受験予定においては、成績が上がった場合、下がった場合、変わらなかった場合それぞれにおける受験方法の確認

三者面談③（12月1日～12月9日）

- ・第3回進路希望調査（最終）の内容をもとに、
受験方法等の確認
 - ・都立推薦願、私立推薦願、併願優遇願、第一志望優遇願
等の必要書類の配付
- ※面談後（原則翌日）には書類を提出して頂きます。
書類提出後の受験方法の変更はできません。

「授業料実質無償化」について

- ・都内に在住の場合、所得にかかわらず、授業料の負担が最大で48万4,000円軽減されます。

※都内在住であれば、都外の高校でも軽減されます。

- ・進学先が国公立なのか私立なのかによって、申請方法が異なります。

主な奨学金について

○「東京都育英資金」

勉学意欲がありながら、経済的理由により修学が困難な方が対象

○「あしなが育英会」

病気・災害・自死遺児、後遺障害で働けない家庭の生徒が対象

○「交通遺児育英会」

保護者が交通事故により死亡、後遺障害で働けない家庭の生徒が対象

○「受験生チャレンジ支援貸付事業」

塾費用や受験料を無利子で貸与される奨学金

小金井市立小金井第二中学校

令和7年度 第1回進路説明会

【本日の流れ】

- ① 学校長より
- ② 入試制度および概要について
- ③ 今後の進路関係スケジュール等
- ④ 学年より